

<p style="text-align: center;">情報数学 (Logical Mathematics)</p>	<p style="text-align: center;">1 年・前期・1 単位・必修 電子制御工学科・担当（西田茂生）</p>	
<p style="text-align: center;">〔準学士課程（本科 1-5 年） 学習教育目標〕 (2)</p>		
<p>〔講義の目的〕 第 2 学年以降における情報系科目の考え方の基礎となる基数法，および論理回路設計の基礎となるブール代数の概念を学ぶ．また，これに必要な集合論の概念を導入する． ブール代数の応用として論理回路の設計を採りあげ，回路図の読み描き，設計手法および論理関数の簡単化についての講義を行う．なお，この講義では論理回路の組み合わせ回路のみを扱う．</p>		
<p>〔講義の概要〕 前半部では，2 進数を中心とした基数法および 2 進数の負数の表現，基本演算法を学ぶ．後半部では，論理回路設計に必要なブール代数の基礎概念，論理回路図の読み描き，標準形および簡単化の手法について学習する． 講義と平行して演習問題を与えるが，不足分は課題として与え，自主的に問題に取り組めるようにする．講義のメモをとる練習を行わせる．</p>		
<p>〔履修上の留意点〕 授業中に行う演習の他，課題に出された問題を必ず自分で解くこと．黒板で問題を解くなど積極的に授業に参加すること．プリント学習を行うが，演習問題などのスペースはあまりないので各自ノートをつくること．</p>		
<p>〔到達目標〕 前期中間試験： 位取り記数法を習得する 2,8,10,16 進法の基数変換を習得する 補数表示の概念を理解し，負数の表記を学ぶ 2 進数の四則演算ができるようになる 前期末試験： ブール代数の基本概念および基本法則を理解する MIL 記号を用いた論理回路図の読み描きができるようになる 論理関数の加法形表示と乗法形表示の理解 論理関数の標準形表示の理解と標準形の導出方法の習得 論理関数の簡単化を習得する</p>		
<p>〔評価方法〕 定期試験(70%)を基本とし，平常点（課題や小テストなど）(30%)を加えて総合的に評価する． 授業中に提示した演習問題を自発的に解答した場合はプラスの評価を行う． また，授業態度により減点することもある．</p>		
<p>〔教科書〕プリントを配り，それに沿って講義を進める． 〔補助教材・参考書〕「論理回路入門」，森北出版，渡辺 隆二</p>		
<p>〔関連科目〕2 年時以降の情報系科目および，論理回路設計の基礎となる．</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	位取り記数法	数の表記方法を学ぶ	
第2週	計算機がなぜ2進法を用いるのか?	2進数を学ぶ意義を計算機の原理を通して理解する	
第3週	基数変換		
第4週	2,8,16進数	計算機で一般的に用いる2,8,16進法の変換手法を学び, それぞれの変換ができるようにする	
第5週	2,8,16進数の加減算	2,8,16進数の加減算ができるようにする	
第6週	負数の表現		
第7週	絶対値表示と補数表示	負の数の表現方法を学び, 補数表現の概念を習得する.	
第8週	2進数の四則演算	2進数の四則演算を習得する	
第9週	演習	これまでに学習した内容について演習問題を解くことにより理解を深める.	
第10週	集合の基本則		
第11週	命題論理と真理値表	ブール代数導入のために集合の基本概念を学ぶ	
第12週	論理演算の導入のために命題論理の基本概念を学ぶ		
第13週	ブール代数の基本則	ブール代数の基本概念と基本法則を学ぶ	
第14週	論理回路作図法		
第15週	MIL記号を用いた論理回路図	MIL記号を用いて論理回路図の読み書きができるようにする	
期末試験			

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)